

受験と囲碁について

最近中学受験、高校受験を終えた生徒たちから合格の報告を受けます。志望校に合格した生徒の嬉しそうな表情を見ると、こちらも本当に嬉しくなります。また数か月会わないうちに何となく大人びて見えて人間としても成長したんだなと感じます。ここ数年開成、渋幕、市川、東邦といった最難関の中学、高校に生徒たちが合格しています。合格に向けてさぞ努力したであろう子ども達に対して率直に尊敬します。また保護者の方のサポートも大変だったと思います。子ども達はお母さん、お父さんへの感謝の気持ちを忘れないでほしいと思います。

さて前置きが長くなりましたが受験に囲碁が役立つかどうか？がテーマです。直接的には受験に関係しません。やっぱり受験勉強しないことには合格しませんから・・・トッププロでも幼稚園の頃にすでに高校の微分を理解していたという超天才の方もいますし、学校の成績はほとんどダメという方もいます。

ただし、ここからが重要です。

囲碁は受験に必要ないくつかの要素を非常に発達させることができると思います。まずは論理的に物事を考え検証する能力です。

普段教室で生徒が取り組む「詰碁」は言ってみれば数学の証明問題みたいなものです。自分なりに仮説を立てて自分がここに打つと相手はここに打

つはずだからそれに対して・・・といった具合です。それで失敗したらまた別の方法を試す。根気のいる課題です。

入門の頃はそんなに難しい課題は出しません。すぐに解けて解く喜びや楽しさを感じてもらおう問題を出していますが、有段者になると1時間考えても解けない問題とか1日考えても解けない問題とか出てきます(^^;)

1つ1つ消去法で検証していくという作業が数学に役立つと思います。

次に囲碁を続けていると鍛えられるのが記憶力です。

囲碁の強い方の記憶力はずば抜けていると言っていいでしょう。

何年も前に打った碁をほぼ覚えていて再現することができます。

囲碁に限らず日常生活においても色々なことを事細かに覚えています。

私も英単語や日本史など効率よく且つ持続的に記憶できたのは囲碁のおかげだと思っています。記憶力は子供たちが取り組んでいる「棋譜並べ」で養われます。最初のうちは「4手ぐらいしか覚えられない～」という悲鳴も出ますが、段々と覚えられる手数が伸びてきます。教室生で慣れている子は150手以上覚えることができます。

それと大事なのが集中力。囲碁の強い人は1局を1～2時間集中して考えるようになります。大会のときは1日で6～8時間ほど頭を使えばなしになります。まだ強くないこどもたちは1局10～20分ほどで終わってし

まいですが・・・この囲碁で鍛えた集中力は受験に必ず役に立つと言えるでしょう。1日10時間以上勉強しても大丈夫だったのは脳のスタミナ、集中力があつたからだと思います。

以前東北大学の川島隆太教授（脳トレが有名）の研究テーマ

「囲碁は考える力を向上させる」で私は囲碁を全く知らない子たちに入門講師として協力させていただいたことがあります。研究結果として囲碁を始めることによって短期的に認知能力を向上させる結果が出たそうです。

受験勉強と習い事の両立は保護者の方にとっても悩むかもしれません。

せつかく囲碁を始めてこれから本当の意味で囲碁の楽しさが分かってくるぐらいの頃に塾が忙しくなり囲碁をやめてしまう子も多いです。

寂しくなるのと同時に少しもったいないかなとも感じます。

個人差はありますが受験直前1~2か月前まで続けた生徒で最高峰の学校に合格しています。きっと自己管理もできていて囲碁を集中して取り組むことで受験勉強のいい気分転換にもなっていたと思います。

お隣韓国では囲碁が受験に役立つものと社会的に認識されているようです。受験のために囲碁を習う→囲碁をやることで頭がよくなる→受験に成功するという図式です。

だいたい囲碁が初段くらいにもなると論理的思考能力、記憶力、集中力は

相当高くなります。できるだけ受験と囲碁を並行して頑張ることで地頭がよくなりきっと受験にも好影響を及ぼすと私は思います。